

令和8年度 学校評価 総括評価表

徳島県立ひのみね支援学校

自 己 評 価					学校関係者評価	次年度への課題と 今後の改善方策
					学校関係者の意見	
小学部	重点目標 【学校目標】 2) 子どもの豊かな学びを支える専門性・授業力の向上 【下位組織レベル】 ① 個別の指導計画に沿った児童一人一人の学びを、視覚的に振り返る取り組みを行う。	評価指標と活動計画		評価		
		評 価 指 標	① 記録した動画等を活用し、各児童の学びの成果を教員間で振り返り、年間3回以上各学級で共有する。	評価指標の達成度	総合評価	
					(所見)	
		活 動 計 画	①-1 個別の指導計画における指導の手立てについて教員間で共有する。 ①-2 児童の学びの過程を動画等で記録し、気付いた点について改善に取り組む。 ①-3 動画等を参考に児童一人一人の学びに対する妥当な評価を複数の教員で行う。	活動計画の実施状況		

【備考：「総合評価」における「評定」の基準】 A：十分達成できた、 B：概ね達成できた、 C：達成できなかった

令和8年度 学校評価 総括評価表

徳島県立ひのみね支援学校

自 己 評 価					学校関係者評価	次年度への課題と 今後の改善方策
					学校関係者の意見	
中 学 部	重点目標 【学校目標】 1) 安心・安全な学校づくり 【下位組織レベル】 ① 学部教員が外部専門家（社会人講師）や保健室（養護教諭、学校看護師）と連携し、生徒の健康状態の維持にむけた取組を推進する。	評価指標と活動計画 評 価 指 標	評価 評価指標の達成度		総合評価 （所見）	
		① 教員へのアンケートにおいて、健康観察の視点、呼吸障がいと対応、姿勢調整などの理解が高まり、実践に活かすことができたという回答を80%以上得る。				
		活 動 計 画	活動計画の実施状況			
		①-1 学部教員に、健康観察の視点、呼吸障がいと対応、姿勢調整などの理解度や実践について、取組の事前事後にアンケートを実施する。				
		①-2 養護教諭、学校看護師と連携し、健康観察の視点、呼吸障がいと対応、排痰を促す関わりなどについての研修を学部教員を対象として実施する。				
		①-3 対象生徒について、外部専門家と連携し、筋緊張緩和や体位変換、姿勢調整などの身体への取組について助言を受けて実践し、学部間で情報共有を図る。				

【備 考 : 「総合評価」における「評定」の基準】 A : 十分達成できた、 B : 概ね達成できた、 C : 達成できなかった

令和8年度 学校評価 総括評価表

徳島県立ひのみね支援学校

自 己 評 価					学校関係者評価	次年度への課題と 今後の改善方策
					学校関係者の意見	
高 等 部	重点目標 【学校目標】 2) 子どもの豊かな学びを支える専門性・授業力の向上 【下位組織レベル】 ① 生徒一人一人の実態に応じて興味関心に基づいた「主体的な学び」を引き出す授業づくりを推進する。	評価指標と活動計画		評価		
		評 価 指 標		評価指標の達成度	総合評価	
		① 主体的な学びにつながる授業実践について、年間を通して実施・記録・振り返りを行い、学部内で3回以上共有する。				
		② 進路を見据えた自己選択・自己決定につながる授業実践について、年間を通して実施・記録・振り返りを行い、学部内で3回以上共有する。		(所見)		
		活 動 計 画		活動計画の実施状況		
		①-1 生徒一人一人の実態に応じた「主体的な学び」とはどのような姿かについて、事前アンケートを実施し、学部会やケース会で協議して学部で共通理解を図る。				
		②-1 各教員が各単元において生徒が「選ぶ・決める」場面を1回以上設定した授業を実施し、実践記録を学部内で共有する。				
		①-2、②-2 各学習グループで互見授業を1事例以上実施し、学部会やケース会で協議することで、専門性・授業力の向上を図る。				

【備考：「総合評価」における「評定」の基準】 A：十分達成できた、 B：概ね達成できた、 C：達成できなかった

令和8年度 学校評価 総括評価表

徳島県立ひのみね支援学校

自 己 評 価				学校関係者評価	次年度への課題と 今後の改善方策
				学校関係者の意見	
総務課	重点目標	評価指標と活動計画		評価	
	【学校目標】 1) 安心・安全な学校づくり 【下位組織レベル】 ① 緊急時や災害時における組織体制の充実	評 価 指 標	① 校内の災害時における組織体制の充実を図り、防災意識を高め、教職員の個人防災備蓄が80%を超える。 ② 家庭と連携して防災への取り組みを行い、参観日に実施する避難訓練に参加した保護者の80%以上が本校の避難態勢に「満足」「やや満足」との回答を得る。	評価指標の達成度	総合評価
					(所見)
		活 動 計 画	①-1 昨年度の内容を改善し、防災研修を2回以上、「災害安全」に関する訓練を5回、「生活安全」に関する訓練を1回計画・実施し、アンケートで防災意識についての回答項目を設定する。 ①-2 毎月の学校安全の日に防災計画等の一部や防災に関する情報、職員の個人備蓄の準備等の内容を掲示板にあげて啓発する。 ①-3 外部から専門家を招き、発災時の避難に関する体験的な研修を実施する。 ①-4 第2回火災避難訓練の期間を10日間程度設け、期間内に告知なして実施する。 ①-5 防災研修のアンケートに個人備蓄への意識に関する項目を入れ、その回答から、教職員の防災備蓄が増えるような対策を検討し、働きかけをする。 ②-1 7月の参観日に地震・津波を想定した避難訓練と引き渡し訓練を実施し、避難態勢（災害時の教員や児童生徒の動き）がわかりやすいように工夫して計画・実施をする。 ②-2 保護者の同意を得て、新入生・センター生の車いす持ち上げ位置のマーキングを行う。在校生についても、車いすの新調等に合わせて同様に行う。	活動計画の実施状況	

【備考：「総合評価」における「評定」の基準】 A：十分達成できた、B：概ね達成できた、C：達成できなかった

令和8年度 学校評価 総括評価表

徳島県立ひのみね支援学校

自 己 評 価					学校関係者評価	次年度への課題と 今後の改善方策
					学校関係者の意見	
教 務 課	重点目標	評価指標と活動計画		評価		
	【学校目標】 2) 子どもの豊かな学びを支える専門性・授業力の向上	評 価 指 標	評価指標の達成度	総合評価		
		① ケース会時に、年間指導計画の整理・見直しをしたことが有効であったと、全教員の80%以上が回答する。		(所見)		
		② 合科学習の単元例(授業例)を3つ以上作成し、データベースを作成する。				
	【下位組織レベル】 ① 児童生徒の実態に応じた授業づくりにつながる取り組みを行う。	活 動 計 画	活動計画の実施状況			
	①-1 年度始めに作成・提出した年間指導計画を、8月末と12月のケース会時に返却し、実施授業の整理や今後の授業計画の見直し等の記入を依頼し、ケース会後に提出してもらう。					
	①-2 12月のケース会後にアンケートを実施する。					
	②-1 夏季休業中に教務課会を設け、4コースの児童生徒を想定した単元例(授業例)を作成する。					
	②-2 作成した単元例(授業例)を校務共通内フォルダに入れ、全体に周知する。					

【備考：「総合評価」における「評価」の基準】 A：十分達成できた、 B：概ね達成できた、 C：達成できなかった

令和8年度 学校評価 総括評価表

徳島県立ひのみね支援学校

自 己 評 価					学校関係者評価	次年度への課題と 今後の改善方策
					学校関係者の意見	
研 究 課	重点目標	評価指標と活動計画		評価		
		評 価 指 標	① 「身体の動きに関する指導力チェックシート」を2回実施し、「できた」とチェックした項目が増えた教員が、全体の80%以上になる。	評価指標の達成度	総合評価 (所見)	
		活 動 計 画		活動計画の実施状況		
		①-1 「身体の動きに関する指導力チェックシート」の実施、対象児童生徒の設定、リフレクションミーティングの手順作成等、教員が実態把握や実態の背景理解を考えやすい環境を整える。				
		①-2 外部専門家（PT等）と連携しながら校内研修を5回企画・運営し、身体の動きに関する専門的知見を普及させることで、指導力向上を支援する。				
		①-3 各教員が対象児童生徒の実態やその背景、指導の工夫及び実践の変容について共有できるよう、年度末に自立活動研修報告会を開く。				

【備 考 ： 「総合評価」における「評定」の基準】 A：十分達成できた、 B：概ね達成できた、 C：達成できなかった

令和8年度 学校評価 総括評価表

徳島県立ひのみね支援学校

自 己 評 価				学校関係者評価	次年度への課題と 今後の改善方策
				学校関係者の意見	
人 権 進 路 課	重点目標 【学校目標】 3) 家庭・地域・学校が一体で 取り組む教育の推進 【下位組織レベル】 ① 家庭・地域・学校が協力 し、人権教育や進路指導の推進 を図る。	評価指標と活動計画		評価	
		評 価 指 標	① 保護者や教員にアンケートを取り、人権教育について考える機会を持てた、進路指導について新しい情報を得たり、知識を更新したりすることができたといった肯定的な回答を80%以上得る。	評価指標の達成度	総合評価
					(所見)
		活 動 計 画	①ー1 いじめ防止（子ども）委員会の一員として児童生徒があいさつ運動に年間2回以上参加する。時間や児童生徒の実態に応じてあいさつの方法などの工夫を行う。 ①ー2 PTAと連携し、保護者、教員対象に人権研修を実施する。 ①ー3 保護者、教員対象に将来を見据えた内容の進路研修を実施し、進路についての情報を提供する。 ①ー4 校内の進路掲示板を年間3回以上更新し、施設についての情報を保護者や教員に周知する。 ①ー5 人権や進路に関する学校での取組を人権進路通信「花みずき」やホームページで年間5回以上発信する。 ①ー6 キャリア教育支援プログラムを引き継ぎ等に活用できるように改訂を行う。	活動計画の実施状況	

【備 考 : 「総合評価」における「評定」の基準】 A : 十分達成できた、 B : 概ね達成できた、 C : 達成できなかった

令和8年度 学校評価 総括評価表

徳島県立ひのみね支援学校

自 己 評 価				学校関係者評価	次年度への課題と 今後の改善方策
				学校関係者の意見	
特 別 活 動 課	重点目標	評価指標と活動計画	評価		
	【学校目標】 1) 安心・安全な学校づくり	評 価 指 標	評価指標の達成度	総合評価	
	【下位組織レベル】 ① ユニバーサル公演事業・体育祭・文化祭において、安心・安全な行事の運営を行う。	① ユニバーサル公演事業・体育祭・文化祭において、安心・安全に医療的ケアを行うことができたかのアンケート調査を養護教諭・学校看護師に実施し、「安心して医療的ケアを行うことができた。」との回答を80%以上得る。		(所見)	
		② ユニバーサル公演事業・体育祭・文化祭において、教員と参加保護者へアンケートを実施し、肯定的な回答を80%以上得る。			
		活 動 計 画	活動計画の実施状況		
		① 医療的ケアが必要な担任と養護教諭・学校看護師に事前に聞き取り調査を行い（人工呼吸器に必要なコンセンツの有無等）、安心・安全に行事に参加できる環境を整える。			
		②-1 ユニバーサル公演事業・体育祭・文化祭を行う体育館内の配置図を作成し、注意事項や各道具類の設置場所等の共通理解を関係者で図り、事故等が起こらないように運営を行う。			
②-2 ユニバーサル公演事業を行う際は、事前に劇団担当者と綿密な打ち合わせを行い、車椅子の移動経路や医療的ケアのスペースを十分に取れるよう調整する。					

【備考：「総合評価」における「評定」の基準】 A：十分達成できた、 B：概ね達成できた、 C：達成できなかった

令和8年度 学校評価 総括評価表					徳島県立ひのみね支援学校			
自 己 評 価					学校関係者評価	次年度への課題と 今後の改善方策		
					学校関係者の意見			
支 援 課	重点目標 【学校目標】 3) 家庭・地域・学校が一体で 取り組む教育の推進 【下位組織レベル】 ① 支援を必要とする子どもた ちの教育相談を行うとともに、 教員の専門性を高める研修会を 開催し、特別支援に関する教育 の充実を図り、地域のセンター 的機能としての役割を果たす。	評価指標と活動計画		評価				
		評 価 指 標	① 地域まるごと専門性向上事業の研修会を開催し、受講後のアンケートで校内外の参加者から「今後の教育活動に生かせる」と80%以上から回答を得る。 ② 巡回相談員の教育相談活動を通して、相談後に困った行動や教員の困りごと等が「改善された」「やや改善された」の評価を80%以上の学校、園から得る。	評価指標の達成度	総合評価			
					(所見)			
					活動計画			活動計画の実施状況
					①-1 研修会の内容を講師先生との打ち合わせの中で具体化し、校外から参加する保、幼、小、中、支援学校の教員の支援のヒントになる内容を取り入れられるようにする。 ①-2 研修後にアンケートを実施する。 ②-1 「相談後シート」の書式を変更し、子どもの変化についての簡単なアンケート欄を設け、回収期限を具体的に提示する。 ②-2 回収した「相談後シート」の結果からよりよい支援方法や改善点等を検討し、次回の相談活動に生かす。			

【備考：「総合評価」における「評定」の基準】 A：十分達成できた、 B：概ね達成できた、 C：達成できなかった

令和8年度 学校評価 総括評価表

徳島県立ひのみね支援学校

自 己 評 価					学校関係者評価	次年度への課題と 今後の改善方策
					学校関係者の意見	
保 健 環 境 課	重点目標	評価指標と活動計画		評価		
	【学校目標】 1) 安心・安全な学校づくり 【下位組織レベル】 ① 災害時、学校での避難生活 (3日間)における安心安全な医 療的ケアの体制や衛生対策を整 える。	評 価 指 標	評価指標の達成度	総合評価		
		① 総務課、担任・養護教諭・学校看護師、学校 医、学校薬剤師と連携・協働し、避難生活において 安心安全な医療的ケアが実施できるような体制を作 る。 ② 総務課と連携しながら、避難生活における衛生 対策を整える。		(所見)		
		活 動 計 画	活動計画の実施状況			
①ー1 医療的ケア児のうち、酸素療法が必要な児 童生徒にとって必要な情報（酸素ボンベの必要数、 保管方法等）を調査し、避難生活においても、安全 に酸素ボンベを保管できるように整える。						
①ー2 避難生活において、安心安全に医療的ケア を実施するための課題や必要な医療機器、医療用品 などを調査し、環境を整える。						
	② 避難生活を想定して適切なトイレの管理方法を 事前に考えておくなど、衛生面での対策を総務課と 連携しながら、整える。					

【備 考：「総合評価」における「評定」の基準】 A：十分達成できた、 B：概ね達成できた、 C：達成できなかった

令和8年度 学校評価 総括評価表

徳島県立ひのみね支援学校

自 己 評 価					学校関係者評価	次年度への課題と 今後の改善方策
					学校関係者の意見	
情 報 課	重点目標	評価指標と活動計画		評価		
		評 価 指 標	① 校務に活用できる生成AIやICTの使い方について、研修や情報提供を行い、教員に対するアンケートで、80%以上肯定的な回答を得る。	評価指標の達成度	総合評価	
		【学校目標】 4) 働きがいのある職場づくりの推進 【下位組織レベル】 ① ICTを活用した校務の情報化および効率化を推進する。			(所見)	
						活 動 計 画
		活動計画の実施状況				
		①-1 掲示板や共有フォルダを通して、校務に活用できる生成AIやICTの情報発信を月に1回以上行う。				
		①-2 生成AIやICTの活用について、毎月末に困りごとがないか掲示板で呼びかけを行い、困りごとに応じた研修を行う。				
		①-3 学校ホームページに、生成AIやICT活用研修の様子を2回以上更新する。				

【備考：「総合評価」における「評定」の基準】 A：十分達成できた、 B：概ね達成できた、 C：達成できなかった